

並列する minipage 環境 使用例 1

@Metachick_2021

1 文章と画像の並列

角度 θ だけ曲げられた回折線に着目すれば、その光路差は図 1 から $a \sin \theta$ となる。特に、 m を整数として、

$$a \sin \theta = m\lambda \quad (1)$$

が成り立つとき、回折線の位相が θ 方向で一致し、干渉によって互いに強めあうことで明るくなる。(なお、このときの m を回折線の次数と呼ぶ。)

これによって、以下の図 2 のようなスペクトル線が各色ごとに分離される。既知の格子定数 a とこれらの θ を測定することで光の波長を計算することができる。

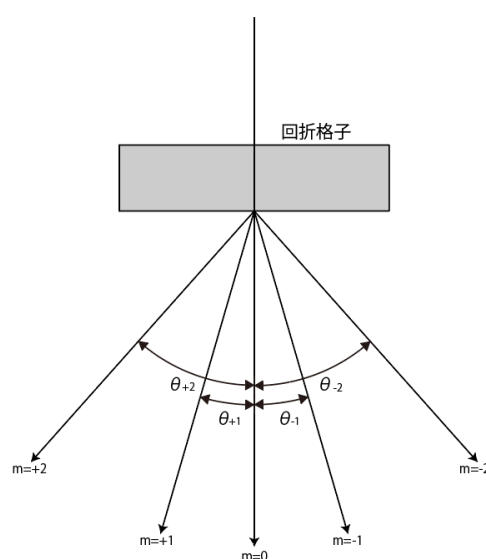


図 1: 回折格子によるスペクトル線の分離

2 文章と表の並列

実験によって計測した $x_1, x'_1, x_{-1}, x'_{-1}$ の値を右の表 1 に示す。ただし、それぞれ複数の副尺が重なっていたので代表的な値を採用した。

- x_1 は 22', 23', 24' の三本の副尺が重なっていたため、間の 23' を採用した。
- x'_1 は 17', 18', 19' の三本が重なっていたため間の 18' を採用した。
- x_{-1} は 5', 6' の二本が重なっていたため 5' を採用した。
- x'_{-1} は 2', 3', 4', 5' の四本が重なっていたため 3' を採用した。

表 1: 実験結果の角度表

角度記号	度分秒表記	度数表記 (°)
x_1	275°23'	275.3833
x'_1	95°18'	95.3000
x_{-1}	237°05'	237.0833
x'_{-1}	57°03'	57.0500